



有限会社石井養豚センター 代表取締役 近藤 用三

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	人材育成・働きがいシニア人材の活用	全社員に対し、職務や役割に応じた研修やライフプラン研修等を実施、人材育成とその担い手を育てます。定年後も継続して働ける機会を創出します。	① 定年(60歳)後も、就業する意欲のある社員の雇用を継続		
			② 2027年までにシニア人材5名採用		
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	独自の省エネ型糞尿処理施設を備え、発酵処理したものを「スター堆肥」として販売します。食品工場から出る食品残さ、食品副産物を使用し、リサイクル飼料化することで、フードロスに貢献します。	① 排出される糞尿を発酵させ堆肥化することで廃棄物の削減「パイロ・リキッドフィーディングシステム」を活用し、食品工場の食品残さ・副産物をオリジナル飼料としてリサイクル		
			② 2027年までにリサイクル飼料の品質向上		
環境・経済	生物多様性への配慮	持続可能な社会の実現のため、自社の事業において生物多様性への配慮に努め、豚の健康管理に努めます。	① 飼料の生産工程の中で発酵処理を実施		
			② 2027年までに豚の呼吸器官・消化器官の良化を促進し生産性向上		
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	① 取組みの担当部署、担当者を設置しリスクマネジメントに関する研修の実施 ② 年4回研修を実施		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。